



うちのイチ押し!

今月号に掲載している講座・イベント・展覧会の詳しい内容を、その事業の担当者が直接PRするコーナーです。

大阪市

こどもカーニバル

育てよう こどもの輝く個性 2019

—笑顔あふれるまち—

市内の青少年団体などの協力を得て、全市のこどもたちが家族や友だちと楽しく遊べるこども同士の交流の場として、わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

●こども会鼓笛隊パレード等

こどもたちによる鼓笛隊やブラスバンド等の演奏などが行われます。

●模擬店

 こどもと育成者の体験と交流の場として実施されます。

●ゲームコーナー

 楽しくみんなでゲームを行います。

●体験コーナー

 車いすの介助や火おこしの体験など

日時 4月24日(日) 10:30~15:00

※雨天中止(小雨決行)

場所 大阪城公園 太陽の広場、野球場
(JR「大阪城公園」、地下鉄「大阪ビジネスパーク」)

対象 こどもと家族(市外からの参加も可)

費用 無料 **申込** 不要

お問い合わせ 大阪市子ども会育成連合協議会
電話:6941-1116(平日午前10時~午後5時)
FAX:6943-8906

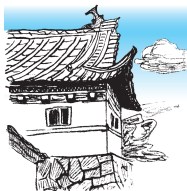
こどもカーニバル会場



大阪市 こどもカーニバルとは

市内の青少年団体などの協力を得て、青少年の健全育成を願い、昭和54年から開催されています。

広場中央で行う開会式(10:30~)では、小学生による開会宣言、中学生などによる式典演奏など、こどもたちが主役になって活躍し、さまざまな催しで、一日中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。



おおさか歴史探訪 ④

大阪の史蹟や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

“大阪らしい”近代建築 —三休橋筋かいわい—

明治維新以降、西洋の進んだ技術が導入されると、大都市には洋風の建築が建てられるようになりました。大正期以降は住宅兼用の商店や事務所ビルなどの建築も盛んになりました。大阪においても船場地域の旦那衆は文化、芸術などに一家言のある人が多く、建築にもいろいろと独自の好みを求めました。この時期になるとわが国の建築家も力を蓄えていたので、いろいろなデザインを駆使して施主の好みに応じた建築を設計しました。かくして、“大阪らしい”近代建築が生まれることになりました。大阪市中央公会堂から南にのびる三休橋筋かいわいには、そのような建築がたくさんあります。

北から紹介しますと、明治建築界の大御所である辰野金吾設計の赤レンガ建築オペラドメーン高麗橋(明治45年)があり、その南側に高さを強調するゴシック様式の浪花教会(昭和5年)があります。西に入ると古代の南米建築をおもわせる芝川ビル(昭和2年)があり、東側に入ると装飾性を抑えたモダンデザインの小川香料(昭和5年)があります。清水猛商店(大正13年)はいろいろな細部意匠を取り混ぜた装飾性に富んだ正面デザインです。船場ビルディング(大正14年)は中央にパティオ(中庭)をもつ地中海式の平面が特徴です。綿業会館(昭和6年)は全国的にもわが国の昭和を代表する名建築です。大阪の近代建築を特徴付ける建築は、大通り添いよりも1筋内側に入ったところに多くみられます。

中之島寄りのところにある愛珠幼稚園(明治34年)は、御殿風の立派な大屋根が特徴の現役の幼稚園です。4月23日(土)には一般公開をおこないますので、三休橋筋かいわいの散歩と合わせて、ぜひご参加ください。

(大阪市教育委員会 文化財保護担当)

